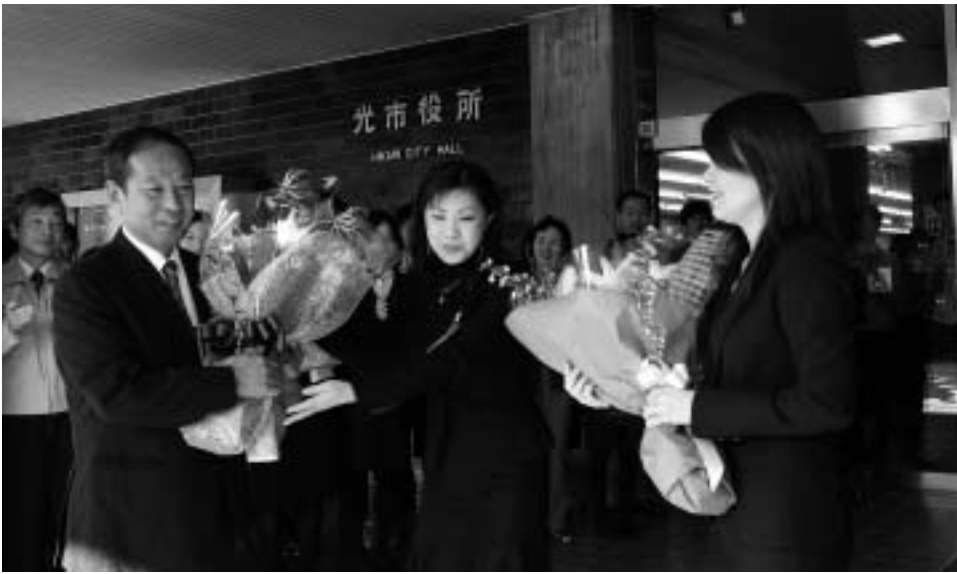


人にやさしく「わ」のまち

ひかりの実現に向けて



このたびの市長選挙におきまして、市民の皆様が力強いご支援を賜り、第二代光市長に就任させていただきました。

地方を取り巻く環境が一段と厳しくなる中、市政を預かるという、その職責の重大さを考えると身の引き締まる思いです。

光市は、平成16年10月、歴史的・文化的・地理的につながるの深い旧光市と旧大和町による市町合併を施行し、はや4年が経過しました。

私はその間、市議会議長として、新たなまちづくりの礎を築く大きな変革期に、光市の発展に精一杯努めてまいりました。

現在、新市において平成19年3月に策定した総合計画に基づき、特に優先すべき戦略的プランを、ひかり未来戦略」として、「おっぱい都市推進プラン」、「自然敬愛都市推進プラン」、「安全・安心都市推進プラン」の三つを重点的に施策展開しております。

私はこれからの市政を担当するに当たり、総合計画をまちづくりの羅針盤として、市民の融和と一体感を最優先に考え、「誕生と長寿を祝うまち」、「地域と産業が潤うまち」、「やさらぎと安心のまち」など三つのまちづくりに関する生活実感施策を加えるとともに、自治体病院を核とした地域医療の確保や少子高齢化などに取り組み、生活者の目線で行政サービスを維持・向上させるには長期的な展望のもとに徹底した行財政改革を実行し、市職員はもちろん、市民一人ひとりが地方自治体を取り巻く環境を認識した上で、心一つに取り組む所存です。

また、市政を預かる者として、常に公正・公平を市政運営の基本として、「誰のために」、「何のために」を念頭に、「まちにやさしさ」をキーワードに、「対話」、「調和」、「人の輪」の三つの「わ」を大切に、やさしく頼れるまちづくりの実現に向け全身全



霊で取り組んでまいる覚悟です。

終わりに私自身、光市の新たな舵取り役として任された期間、「人にやさしく「わ」のまち ひかり」を目指してまいりますので、皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成20年11月14日

市長 市川 熙

11月10日号広報2頁、光市長選挙および光市議会議員一般選挙の投票結果の中で、市川熙と表記していますが、市川熙の誤りです。

お詫びして訂正します。

秘書広報課